



かがやき

～一人一人のウェルビーイング～

かんがえる
がばいさ
んがえ
かき

時津町立鳴鼓小学校
学校だより R6年度第9号

令和6年10月1日
文責：校長 今井大輔

寝食を共にした仲

5年生が、9月4日(水)～5日(木)に国立諫早青少年自然の家へ宿泊学習へ、6年生が、9月19日(木)～20日(金)に佐賀・福岡方面まで修学旅行へ行ってきました。小学校の学校行事の中で、この2つだけが宿泊を伴うものです。「寝食を共にする」「同じ釜の飯を食べる」という言葉がありますが、親元を離れ、共に時間を過ごし、時には夜遅くまで語り合う経験は、子供たちにとってかけがえのないものです。

今回の宿泊行事でも、子供たちは、学級の仲間との絆を深め、大きく成長しようという思いと回り成長した子供たちの姿を心から嬉しく思います。

宿泊学習にて

5年1組 谷 柗奏さん
私は、宿泊学習の野外炊飯で仲間と協力してカレーを作りました。チームで、協力して一生けん命作ったので、カレーが思った以上に美味しくできたので良かったです。けれど、使った食器を洗った後に、きれいにふけていなくて水が残っていたので、これからは、家で食器などを洗う時には、しっかりとふけているか、水が残っていないかをチェックしていきたいです。そして、今までまきで火をおこして、調理をしたことがなかったのので、野外炊飯でこの体験ができて、いい思い出の一つにもなったので良かったです。

5年2組 高木 蒼大さん
私の班の合言葉は、『助け合い』でした。2つ目の活動のオリエンテーリングでは、班で「今どこに自分たちはいるのか」「次の目的地をどこにするのか」といったことで言い争いになってしまいうこともありました。それでも、

「助け合い」の目標を達成するために、お互いに意見を伝え合ったり、譲り合ったりしながら、協力して進むことができました。山や川といった自然を楽しみながらみんなまでゴールできてよかったです。



修学旅行にて

「自信をもって発言するには」

6年1組 岡本紬希さん
私は、出発式の代表の言葉や施設に行ったときに「気を付け。よろしくお願ひします。」「ありがとうございます。」などの号令をかける役目を担いました。みんなの前で話をしたり、公共の場で号令をかけることはとても緊張しました。しかし、クラスのみんなや施設の方が話や号令を聞いて反応してくれて、とても安心しました。
自信をもって発言するためには、相手が聞いてくれているという安心感が重要だということを実感することができました。

「時と場にあった行動をすること」

6年1組 福永彩奈さん
この修学旅行で、私は時と場にあった行動をすることの大切さを学びました。例えば、福岡市科学館では、「真剣に見学している周りの人を邪魔しないように静かに見よう。」と心がけることができました。これからの学校生活の中でも、集会するときなど静かにするべき場面があったときには、高学年として下級生のお手本となるようにしたいと思います。

「返事と反応の大切さ」

6年1組 米原巧馬さん
この修学旅行では多くの人との出会いがありました。バスのガイドさんや福岡市科学館の職員の方など、多くの方が私たちに話をしてくださりました。そこで、話す人が話をしやすいように気を付けることを大切であると分かりました。これからは、人の話に対して返事をすることや反応することを意識しながら学校生活を送っていきます。

6年2組 笹田麗菜さん

マリンワールドで目当ての動物をたくさん見ることができました。チンアナゴは思ったより小さくて細くてびっくりしました。かめがすごく大きかったです。ラッコを初めて見て、すごくかわいいと思いました。イルカ・アシカショーを初めて見ました。イルカは高くとんでいてすごかったです。飼育員さんもイルカに乗るのが上手でした。イルカとクジラとアシカが飼育員さんのいうことをちゃんと聞いていてすごいと思いました。

6年2組 吉井美月さん

キッサニア福岡のソーセージ工場では、ソーセージがどのように作られているのかが分かりました。お天気アナウンサーでは、どのように伝えればよいか、目線をどこに合わせればよいかなどが分かりました。また、赤ちゃんのお世話など、いろいろ将来に役立つことができて楽しかったし、いろんなことが学べました。

「一生の思い出 宿泊学習」 教頭 川口 洋一

今から43年前、私も時津小学校で5年生のときに諫早少年自然の家へ宿泊学習へ行きました。子供たちと共に活動を行いながら、そのときのことを懐かしく思い出していました。そのときの活動、食事のメニューなど、今でも鮮明に覚えています。

2日間の体験、そして感じたこと学んだことは、子供たちにとって一生の思い出、財産になることと思います。

友達と活動し、成功や失敗を共有した経験は間違いなく、今後、様々な場面で生かされると期待しています。



「充実の2日間の修学旅行」 校長 今井 大輔
<1日目>

吉野ヶ里歴史公園→福岡市科学館→マリンワールド
猛暑日となった1日目。午前中とはいえ、吉野ヶ里歴史公園は、さすがに暑かった。しかし、子供たちは、「これ教科書にのってた!」「すごい、本物!」と言いながら、公園内を歩き回っていました。マリンワールドでは、イルカショーに歓声を上げ、パノラマ水槽の前では感嘆の声も出ていました。宿泊したホテルは、全室オーシャンビュー。大きな露天風呂には、さざ波の音が聞こえ、最高のひとときを過ごせました。食事から部屋まで、子供たちは大満足の様子でした。

<2日目> キッザニア福岡

キッザニア福岡では、子供たちは、自分で選んだ職業を次々と体験し、衣装を着替えて、ミニチュア版ながら本格的な仕事に挑戦していました。キッザニア内の通貨を稼ぎ、使うこともできる仕組みは、子供たちの社会体験学習に大きく貢献していると感じました。特に、各ブースの可愛い衣装は、子供たちばかりでなく、引率の私たちまで大いに楽しませてくれました。

今回の修学旅行は、子供たちが様々な体験を通して成長する貴重な機会となりました。特に、キッザニア福岡での職業体験は、子供たちの将来を考えるきっかけになったことと思います。

※保護者の皆様、事前の体調管理や準備等ありがとうございました!